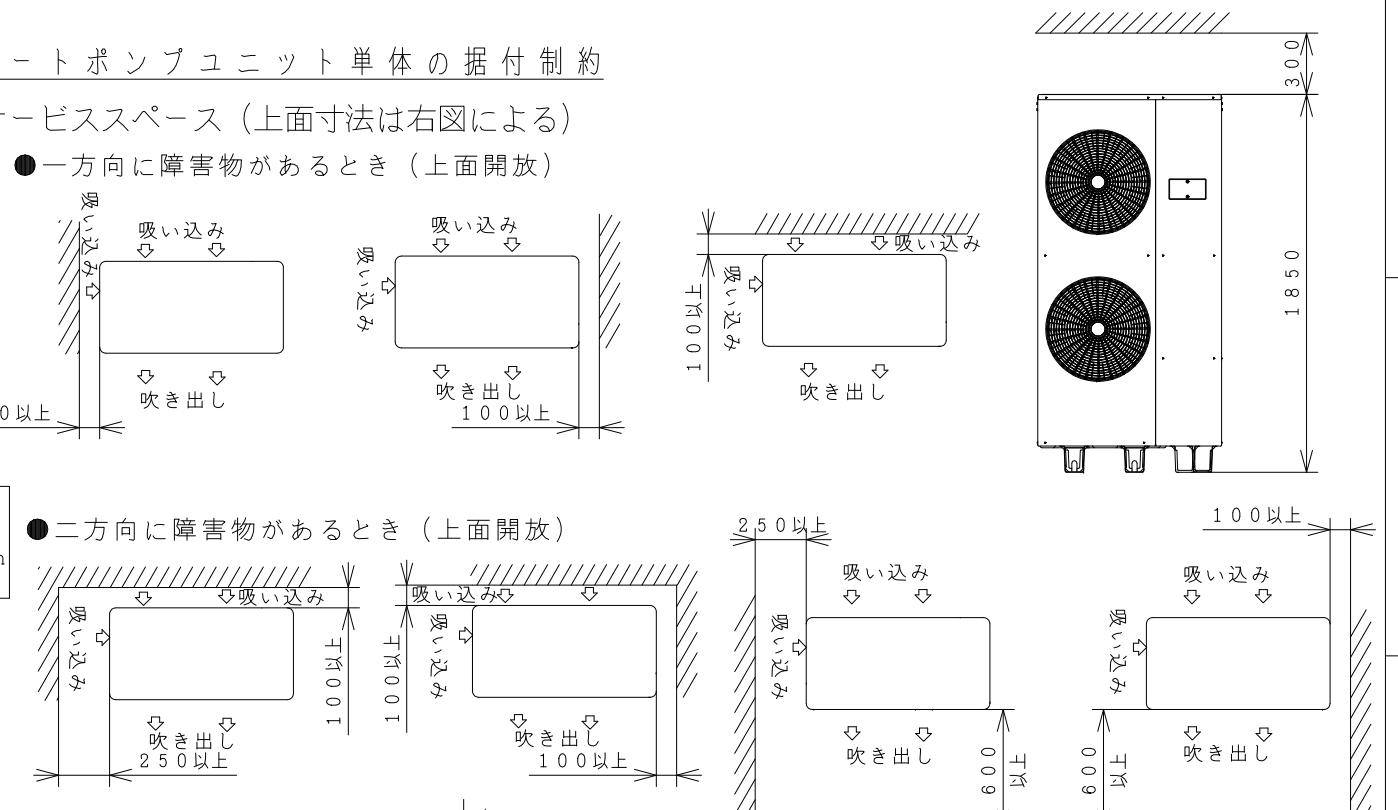


施工上の注意点

- 設定温度給湯の給湯栓には、やけど防止のためサーモスタット付湯水混合栓をご使用ください。風呂や洗髪用のシャワー使用の場合はサーモスタット付湯水混合栓を施工の上、リモコンで給湯設定温度を高め（50℃以上）に設定して頂くことで湯温変動を少なくすることができます。
- 高温給湯は厨房機器の給湯以外に使用する場合は、やけど防止のため給湯経路に湯水のミキシングバルブを設定して60℃程度に湯温を調整してご使用ください。
- 高温給湯は流量が調整できる様、給湯経路にバルブを設置し、最大給湯量を20L/分以下としてください。
- ヒートポンプ配管および給湯配管を1m以上鳥居配管とする場合は最上部に空気抜き弁を取り付けてください。
- 3.5mを超える階下給湯の場合は貯湯ユニットの直近の給湯配管に負圧防止弁と空気抜き弁を取り付けてください。
- ヒートポンプユニットを貯湯ユニットより1m以上高い位置に設置する場合は、B側（出湯）配管の立下り部の角に自動空気抜き弁を設置してください。

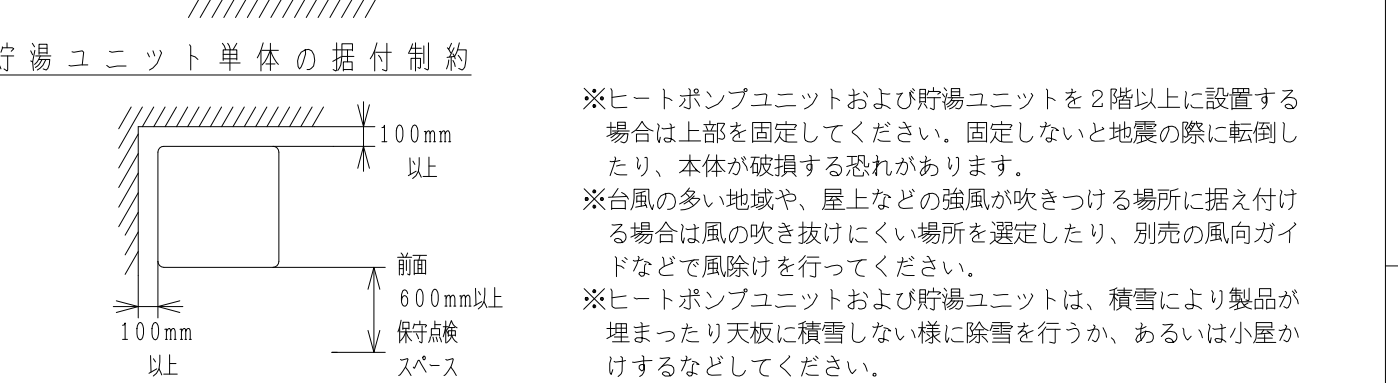
ヒートポンプ配管	給湯熱交換り配管	階上	階下
1.5m以内	5m以内	設定温度給湯側 9m以内	-1.5m以内
10曲がり以内(片道)	5曲がり以内(片道)	高温給湯側 4m以内	-3.5m以内

※階下、階上給湯はいずれかでご使用ください。



ヒートポンプユニットは、屋外設置用の機器ですので屋内に設置しないでください。

ヒートポンプユニットは、周囲4方が閉塞された深さ1m以上の凹地のような場所には設置しないでください。



※ヒートポンプユニットおよび貯湯ユニットを2階以上に設置する場合は上部を固定してください。固定しないと地震の際に転倒したり、本体が破損する恐れがあります。

※台風の多い地域や、屋上などの強風が吹きつける場所に据え付ける場合は風の吹き抜けにくい場所を選定したり、別売の風向ガイドなどで風除けを行ってください。

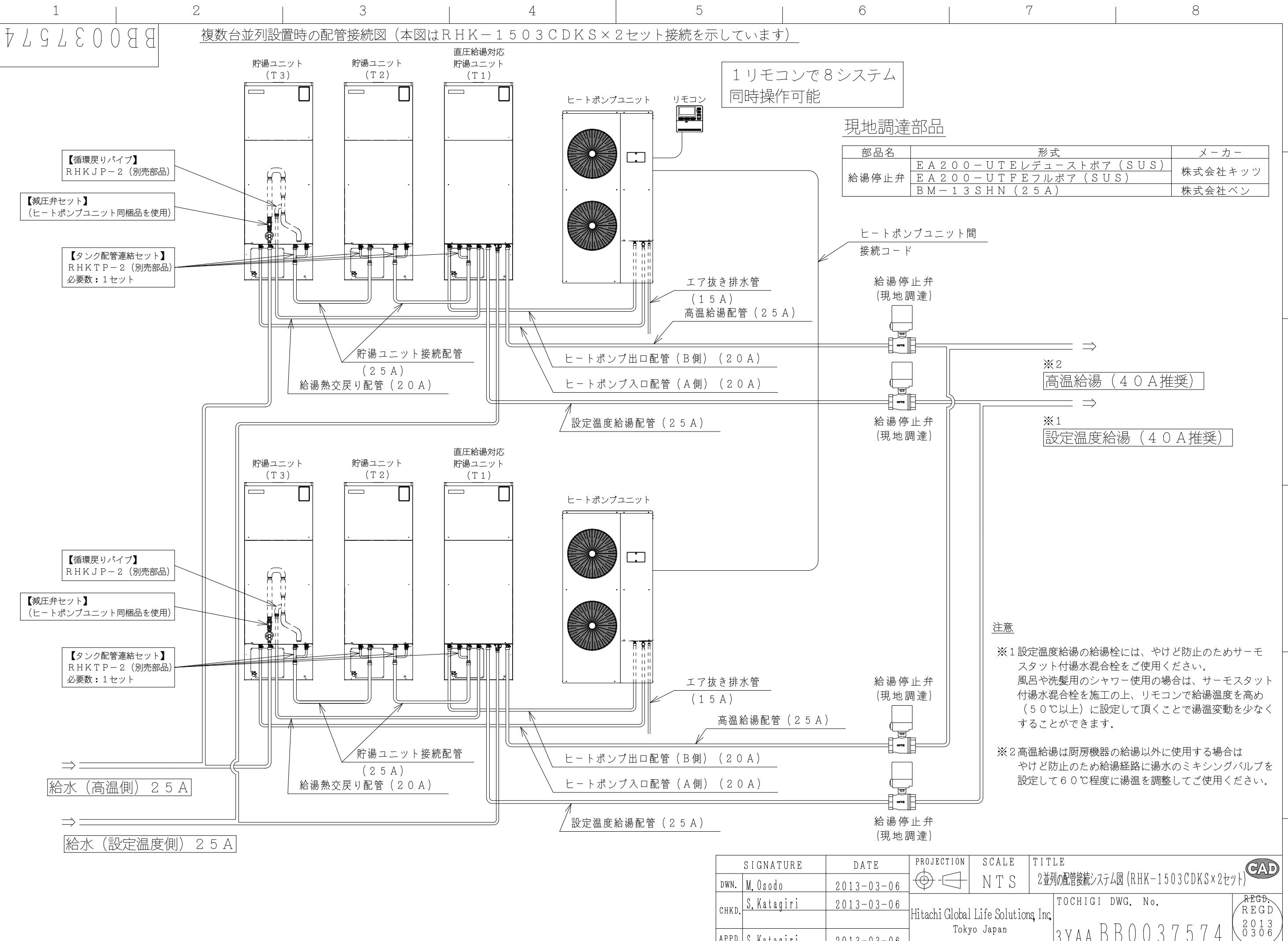
※ヒートポンプユニットおよび貯湯ユニットは、積雪により製品が埋まったり天板に積雪しない様に除雪を行うか、あるいは小屋かけするなどしてください。

●水質によっては、タンク、逃し弁、熱交換器等の寿命が通常より短くなる場合があります。特に、温泉水、地下水、井戸水で使用した場合は保証しかねます。水質基準に適合した水道水を使用してください。

水質基準(参考)

水素イオン濃度(25℃)	6.5~8.0pH	Mアルカリ度pH4.8(酸消費量)CaCO ₃	50mg/L以下	アンモニウムイオンNH ₄ ⁺	検出されないこと
電気伝導率(25℃)	200μs/cm以下	総硬度CaCO ₃	70mg/L以下	鉄Fe	0.3mg/L以下
塩化物イオンCl ⁻	30mg/L以下	加カル硬度CaCO ₃	50mg/L以下	残留塩素Cl	0.5mg/L以下
硫酸イオンSO ₄ ²⁻	30mg/L以下	シリカSiO ₂	30mg/L以下	遊離炭酸CO ₂	4.0mg/L以下
		イオウイオンS ²⁻	検出されないこと		

SIGNATURE	DATE	PROJECTION	SCALE	TITLE
DWN. M. Osodo	2013-03-06	第一角法	NTS	システム番: RHK-1503CDKS 設置・施工図
CHKD. S. Katagiri	2013-03-06	Hitachi Global Life Solutions Inc. Tokyo Japan		TOCHIGI DWG. No.
APPD. S. Katagiri	2013-03-06	3YAA BB0037573		REGD. REGD 2013 0306



複数台並列設置時の配管接続図 (本図はRHK-1503CDKS×2セット接続を示しています)

1リモコンで8システム
同時操作可能

現地調達部品

部品名	形式	メーカー
給湯停止弁	EA200-UTEレテューストボア (SUS)	株式会社キッツ
	EA200-UTFEフルボア (SUS)	
	BM-13SHN (25A)	株式会社ベン

【循環戻りパイプ】
RHKJP-2 (別売部品)

【減圧弁セット】
(ヒートポンプユニット同梱品を使用)

【タンク配管連結セット】
RHKTP-2 (別売部品)
必要数: 1セット

【循環戻りパイプ】
RHKJP-2 (別売部品)

【減圧弁セット】
(ヒートポンプユニット同梱品を使用)

【タンク配管連結セット】
RHKTP-2 (別売部品)
必要数: 1セット

ヒートポンプユニット間
接続コード

エア抜き排水管
(15A)
高温給湯配管 (25A)

給湯停止弁
(現地調達)

貯湯ユニット接続配管
(25A)
給湯熱交戻り配管 (20A)

ヒートポンプ出口配管 (B側) (20A)
ヒートポンプ入口配管 (A側) (20A)

※2
高温給湯 (40A推奨)

設定温度給湯配管 (25A)

給湯停止弁
(現地調達)

※1
設定温度給湯 (40A推奨)

貯湯ユニット接続配管
(25A)
給湯熱交戻り配管 (20A)

ヒートポンプ出口配管 (B側) (20A)
ヒートポンプ入口配管 (A側) (20A)

エア抜き排水管
(15A)
高温給湯配管 (25A)

給湯停止弁
(現地調達)

給水 (高温側) 25A

給水 (設定温度側) 25A

注意

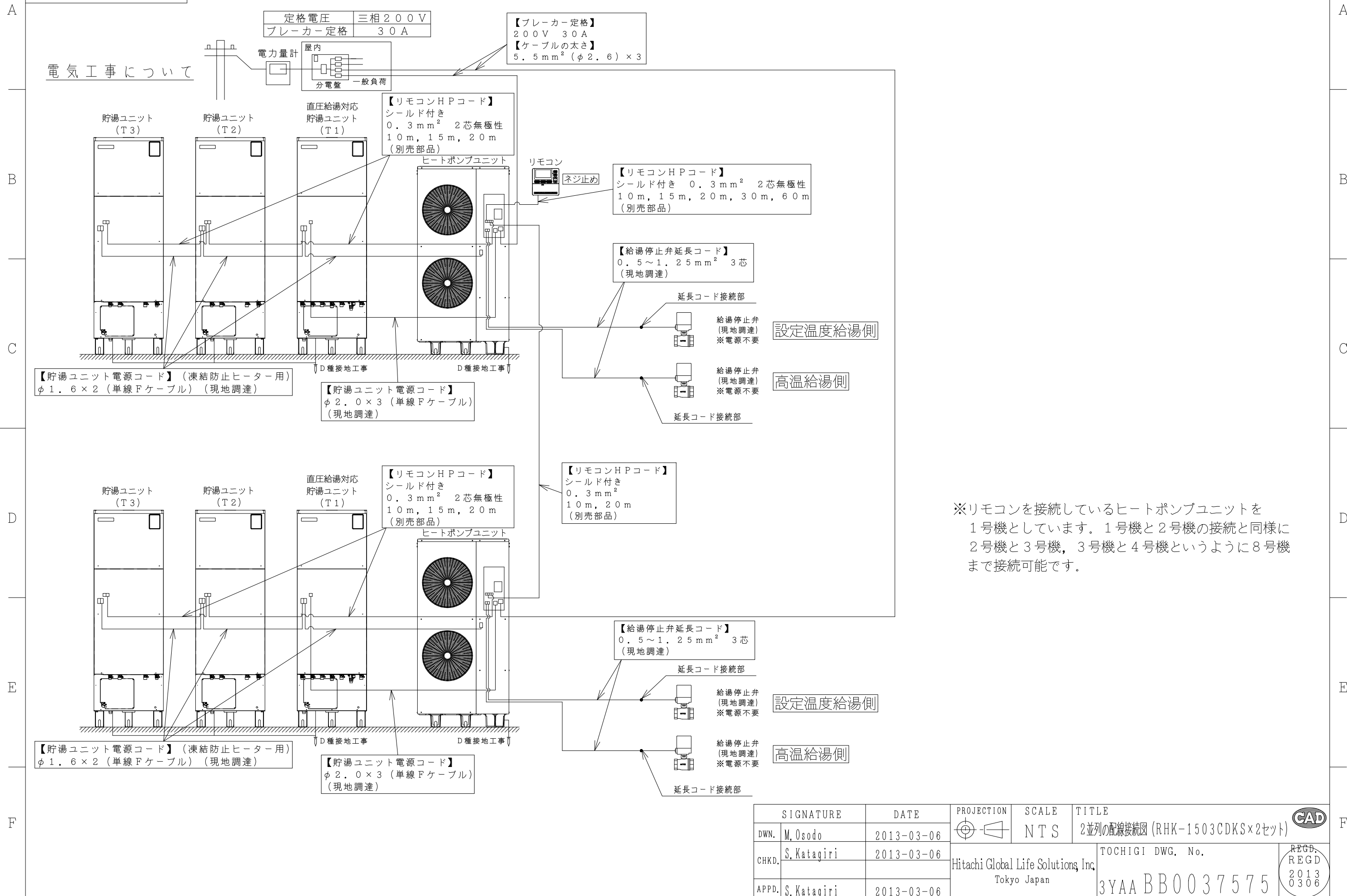
※1 設定温度給湯の給湯栓には、やけど防止のためサーモスタット付湯水混合栓をご使用ください。
風呂や洗髪用のシャワー使用の場合は、サーモスタット付湯水混合栓を施工の上、リモコンで給湯温度を高め (50℃以上) に設定して頂くことで湯温変動を少なくすることができます。

※2 高温給湯は厨房機器の給湯以外に使用する場合はやけど防止のため給湯経路に湯水のミキシングバルブを設定して60℃程度に湯温を調整してご使用ください。

SIGNATURE	DATE	PROJECTION	SCALE	TITLE
DWN. M. Osodo	2013-03-06	Hitachi Global Life Solutions Inc. Tokyo Japan	NTS	2並列の配管接続システム図 (RHK-1503CDKS×2セット)
CHKD. S. Katagiri	2013-03-06			
APPD. S. Katagiri	2013-03-06			
				TOCHIGI DWG. No.
				3YAA BB0037574
				REGD. REGD. 2013 0306

BB0037575

複数台並列設置時の配線接続図 (本図はRHK-1503CDKS×2セット接続を示しています)



SIGNATURE	DATE	PROJECTION	SCALE	TITLE	TOCHIGI DWG. No. 3YAA BB0037575	REGD. REGD 2013 0306
DWN. M. Osodo	2013-03-06	Hitachi Global Life Solutions Inc. Tokyo Japan	NTS	2並列の配線接続図 (RHK-1503CDKS×2セット)		
CHKD. S. Katagiri	2013-03-06					
APPD. S. Katagiri	2013-03-06					



70880088
BB0038804

井水対応時（膨張タンク）設置施工図

井水対応には下記対応が必要です。

- 膨張タンクを必ず取り付けてください。
(推奨品 日立金属製 ST-80V (封入圧100kPaと指定してください。))
- 減圧弁は85kPa仕様品(別売部品 RHKGA85-2)を取り付けてください。
- 使用する水は飲料水の基準に適合し、下記の水質基準範囲内でご使用ください。

水素イオン濃度 (25℃)	5.8~8.6 pH	シリカ SiO ₂	50mg/L以下
電気伝導率 (25℃)	700μs/cm以下	イオウイオン S ²⁻	検出されないこと
塩化物イオン Cl ⁻	100mg/L以下	アンモニウムイオン NH ₄ ⁺	検出されないこと
硫酸イオン SO ₄ ²⁻	50mg/L以下	鉄 Fe	0.3mg/L以下
Mアルカリ度 pH4.8 (酸消費量)	75mg/L以下	銅 Cu	1.0mg/L以下
総硬度 CaCO ₃	200mg/L以下	残留塩素 Cl	1.0mg/L以下
カルシウム硬度 CaCO ₃	150mg/L以下	遊離炭酸 CO ₂	30mg/L以下

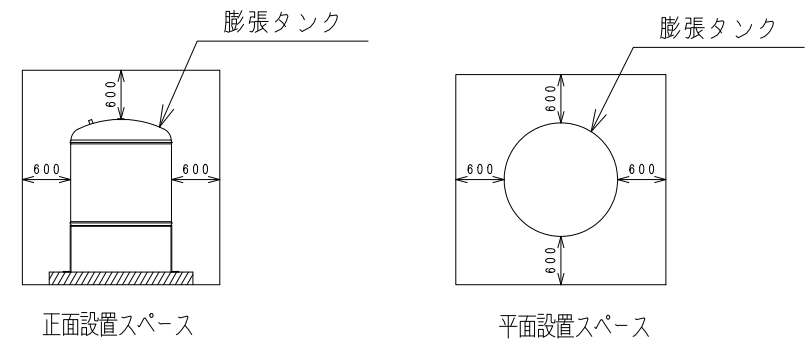
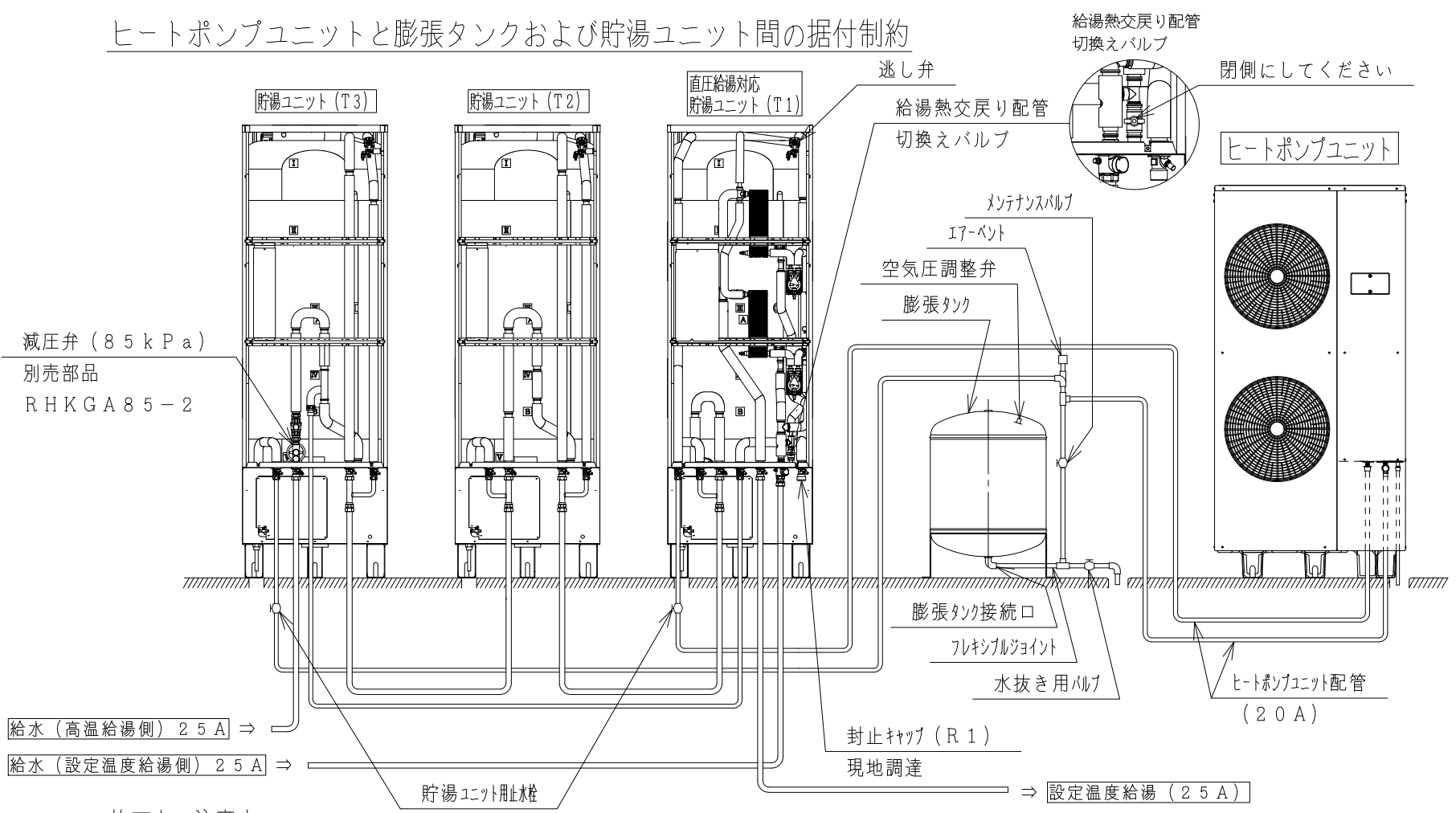
膨張タンク施工時の注意点

- 警告**
- 施工時 膨張タンクへの配管接続は、膨張タンク接続口に必ず接続する。膨張タンク接続口以外への接続は絶対に行わない。膨張タンク接続口以外を緩めたりすると部品が飛散し、重傷を負う恐れがあります。
 - 使用時 膨張タンク使用時は、接続配管を緩めない。緩めると部品が飛散したり温水が吹き出し、重傷を負う恐れがあります。また、タンクの水は、飲用に使用できません。

- 注意**
- 施工時 膨張タンクは基礎、架台等へ確実に固定する。また、転倒防止のため、アンカーボルト等にて確実に固定する。(耐震0.6G以上の要求の場合は上部固定が必要となります。) 吊り下げて設置する場合は固定金具等で固定する。膨張タンクが転倒し、部品が飛散したり温水が吹き出し、重傷を負う恐れがあります。

- 膨張タンクは、屋内設置仕様です。屋外に設置する場合には、屋外塗装仕様品を指定するか、あるいは防水(雨じまい)防錆等の処置を必ず行う。腐食等により、温水が吹き出し、重傷を負う恐れがあります。
- 膨張タンクの「空気圧調整弁」の周囲は、600mm以上の空間を必ず取る。また、タンク上部には配管およびダクト類を通さない。膨張タンクの整備、取替えができません。

ヒートポンプユニットと膨張タンクおよび貯湯ユニット間の据付制約



- システム配管の水圧試験時には、「メンテナンスバルブ」を閉じて膨張タンクへ圧力をかけない。膨張タンクにシステム配管の水圧試験圧力が加わった場合、ダイヤフラムが破損する可能性があります。
- 膨張タンクおよび接続配管が、凍結する恐れのある場合は必ず保温工事を行う。膨張タンクを保温する場合は、空気圧調整弁、銘板またはシールが点検時に外部より点検できる様に施工してください。凍結した場合、配管が破損する恐れがあります。(タンクの保温は16K以上のグラスウール+ラッキングとしてください。) 接続配管には、タンク接続口まで配管ヒータを取り付けるなどの処理をしてください。
- 施工時には、配管の接続を間違わない。誤った箇所へ接続されると製品が機能しません。
- 膨張タンクへの配管接続は、「フレキシブルジョイント」「メンテナンス用バルブ」「水抜き用バルブ」を必ず取り付ける。

施工上の注意点

- 井水使用の場合は、高温給湯は使用できませんので、封止キャップ(現地調達)で塞ぎ、配管接続しないでください。(但し、設定温度給湯・高温給湯用の給水は共に接続してください。)
- 設定温度給湯の給湯栓には、やけど防止のためサーモスタット付湯水混合栓をご使用ください。風呂や洗髪用のシャワー使用の場合は、サーモスタット付湯水混合栓を施工の上、リモコンで給湯温度を高め(50℃以上)に設定して頂くことで湯温変動を少なくすることができます。
- ヒートポンプユニットと貯湯ユニットと膨張タンクの高低差は1m以内に設置してください。
- ヒートポンプユニットB側配管は施工の際、上図のように立ち上げる必要はありません。

- 使用時 1年以内ごとに1回の定期点検を必ず行ってください。

施工後の試運転

- 施行後、必ず試運転を行ってください。(沸き上げ温度90℃、沸き上げ量100%)
- 沸き上げ完了後、貯湯ユニット(T1)の逃し弁よりエア抜きを行ってください。(数秒間)(ゴボゴボ音がしたり、水が断続するような場合はエア抜きが終了していません。)
- ※エア抜きを行わないと、給湯ポンプがエア噛みを起こす恐れがあります。

SIGNATURE	DATE	PROJECTION	SCALE	TITLE
DWN. M. Osodo	2013-05-08	第一角法	NTS	RHK-1503CDKS 井水対応時設置施工図
CHKD. S. Katagiri	2013-05-08	Hitachi Global Life Solutions Inc. Tokyo Japan		TOCHIGI DWG. No.
APPD. S. Katagiri	2013-05-08	3YAA BB0038804		REGD. REGD. 2013 0508